

令和7年3月

世田谷区立芦花中学校
校長 風間 浩也

次年度に向けた改善方策 ～令和6年度の関係者評価分析結果の報告を受けて～

令和7年度については、令和6年度の成果を踏まえ、教育の質の一層の向上を目指し、今日的な教育課題に向き合い、充実した教育活動を展開していく。中でも、学力面では、授業においてICTを効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の更なる充実を図る。また、日常的な学校生活の充実とともに、行事の活性化、キャリア教育の推進、そして、地域、家庭及び小学校との連携強化をキーワードに、非認知能力の醸成を踏まえた創意工夫のある教育活動を展開する。

区研究指定事業「魅力ある学校」のための研究や都研究指定授業「デジタルを活用したこれからの学び」事業を活用してより一層の充実を図る。

1 重点項目について

義務教育の目的であり、普遍的な公立学校の基本的使命である「学力の保証」と「基本的生活習慣の定着」「自立と社会貢献のための資質・能力の育成」を軸にすえた学校経営を行う。令和7年度の学校経営は次の2点に重点を置く。

(1)学校教育の質の向上～主体的・対話的で深い学びの実現～

各教科、各行事、日々の学校生活で育む資質・能力を踏まえた教育内容・教育活動の改善を行う。また、教育DXの推進による効率的、効果的な教育活動を実施する。

(2)誰一人取り残さない教育の実現～社会に開かれた学校～

一人一人のウェルビーイングの実現のための、組織的・計画的な運営を推進する。また、地域人材、組織を活用した開かれた学校づくりを行う。

2 学習指導について

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善、探究的な学びの実現を図る。東京都推進事業「デジタルを活用したこれからの学び」の指定を活用し、「問い合わせ（課題）と振り返り」「見方・考え方」「個に応じた指導」による学習過程を大事にし、学習課題の設定とそれに対応した学習のまとめ、各教科の特性を踏まえ学習（見方・考え方の働きかせる）、生徒の個々の学習状況に応じた「個別最適な学び」及び探究的な学習や体験活動を通した「協働的な学び」の充実により学びの質をより一層高めていく。

3 生活指導等について

一人一人の生徒理解に努め、信頼関係を基盤とする教育相談的手法を基本に、発達支持的な指導を行う。学校のきまり等について、生徒に考えさせる機会をつくつ

ていくとともに、生徒による学校生活の改善・充実に取り組めるよう、自主性、自治的能力の育成に取り組むために、「生徒の声」を生かした学校運営を進める。さらに、いじめ防止基本方針に基づいて生徒が安心して学校生活が送れるよう指導の充実を図る。不登校対応や特別支援教育等、様々な配慮を必要とする生徒に必要な支援をするため、一人一人に寄り添う指導体制を整備し、関係諸機関との連携を図るなど教育相談を計画的・組織的に展開できるように工夫し、校内別室等の展開も行っていく。

4 部活動について

生徒一人一人の趣向に基づく活動であり、技能面だけでなく、人間形成の場として貴重な教育の機会となっており、生徒の期待も大きい教育活動である。本校の学校規模に対して、多くの部活動を設置しているが、引き続き生徒が求める多種多様の部活動を開設できるように、全教職員が部活動にかかわり、予算内での外部指導員の導入を充実させるとともに、部活動ガイドライン等に基づき適正な部活動を実施しながらの活性化を図っていく。

5 学校全般について

生徒・保護者とともに、学校生活は楽しいという回答が多くあり、これまでの教育活動を継続しつつ、工夫・改善を図っていく。中でも、生徒の自主性、主体性を伸ばし、人間としての「在り方や生き方」の探索や実現を支援し、重点的に育みたい資質・能力の育成を図っていく。

学校・家庭だけで子どもの育ちを完結させるのではなく、地域の人的リソース、関係機関などとの結びつきを強くもちながら、引き続き地域との連携を強化していく。施設一体型の利点を生かした小学生との交流等小学校と連携した取組、児童館と連携した取組についても継続していく。